京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年[illegible]
本紙定價 一部[illegible] 一ヶ月[illegible] 三ヶ月[illegible] 六ヶ月[illegible] 一年[illegible] 郵税一ヶ月十五錢
廣告料 [illegible]
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久伴一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話[illegible]
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

東京だより

[illegible]責任内閣[illegible]行せんとする事は[illegible]して如何なる人材を用するとは[illegible]の責任[illegible]に於て少からざる影響あるべし、これ[illegible]もなき事に候、蓋し責任内閣なるものに[illegible]の死活問題にして、該人物の運用全く[illegible]て、始めて其實を收め得るの狀態へば、[illegible]の實として其任[illegible]しめんか、何等の効果を收[illegible]はこれのみか、却て純粹軍備よりも重大なる弊害を生ずることを見るよりも明らかなる事に候。

明日[illegible]の代議士團[illegible]に於け人[illegible]老大國の前途を觀測ることも、亦[illegible]として衆議院[illegible]に北京官話持上り候、それを合より[illegible]しものが即ち今回の遭の材料と相成候。

清國の元勳として[illegible]にして大外務部の總理として[illegible]の老臣として頑固黨の首領として北京官界の重鎭として、又攝政王の目の上の瘤として[illegible]となりたる、慶親王につきては已に世間の定評もある事に候へば其他の大官に付て可申上候。

◎北京官界にて最も注目すべき人物は[illegible]派の權化にして、袁世凱の股肱として、現に軍機の大官に列しをる徐世昌、及び載濤の化身として軍機に參し居る毓朗の兩者に有之候。

◎昨年、徐世昌、毓朗の兩人軍機處に入るや、我政客は[illegible]大に騷ぎあるべしと多大の望を囑し、清國人も亦大に其[illegible]期待致し候、然るに事實は全く世評の通りならず、入處後已に數月を經たる今日に至るも、更に何等の事すてもなく、唯平々凡々庸々碌々として居り、爲に清國人をして轉た失望嘆聲を發せしめをり候。

◎抑も、有爲の人物と目せられし兩者が如何にして如斯なるや、這は有力者の牽制壓迫の爲め其技倆手腕を充分に試み事の出來ざるものならんと觀測され居候、果して然らば兩者共責任を解せざるものに候、已に身一旦軍機の要職に就い、位一旦最高地位に登りたる以上は其職に殉するてう國家に忠實なるものなるに、事故に出でずして、朝に轉門に[illegible]長者の[illegible]の座を擁ふのみに汲々たるに至りては、餘りに兩者の實目の輕きこと呆れる外無之候、而も近き將來に於て、此兩者責任内閣の重き地位を占めんとの傳說に接して[illegible]甘く行はるゝものなるや疑問に有之候、外國政治家にまで[illegible]されし兩者にして如此、近時[illegible]の外交の多難なるも自ら進んで之が折衝の任に當らんとする者なく、總に[illegible]なりとは云へ、一面國家に忠なる者無之に困るものに候。（ろ生）

雜錄

◎嫁の心得　茂坊

この間衆議院の林田[illegible]が自分の娘を嫁けるに先だち「嫁の心得」と言ふのを書いてそれを娘に持たせてやつたそうである。

私は獨り身のそんな事言いた所で[illegible]つまらないけれど、此の世の[illegible]の爲めに十戒を作つて見た、是れを能く守れば恐らくは家内安全波風立たず子孫繁昌偕老同穴の契りを結ぶ事請合である。

一、衛生を重んじ身体の健康を計る可し
二、常に愉快の顔色をなし憂の色を見すべからず
三、容貌風采に常に心を用ひ美しく優しく見ゆる事に心掛けよ
四、快活にして怜悧なれ
五、常に夫を助けよ
六、心弱きは賞むべき事に非らず、されど柔順なるは喜ぶべし
七、夫を教育せんとするは心得違なり
八、夫の意見に和して尊敬する事を忘るべからず
九、常に如何にして夫を喜ばすべきかを工夫すべし
十、廣き世界に夫の愛するものは唯我身一人なる事を思ひ是れに對して獻身の覺悟を缺ぐべし!!

●朝鮮米と繩叺

朝鮮は米產地なるに係はらず繩叺の產出なきを以て移出穀物用の繩叺は全部之を日本内地に俟たざるべからざる事情あり年々之に要する費用は極めて莫大なるものにて朝鮮全体を通ずる時に少くも六七十萬圓の巨額に達すべく之を農家の副業として朝鮮内地に產出せしめ移入を防遏する事とせば一般經濟界に及ぼす影響決して尠少ならざるべきが由來朝鮮の業は[illegible]其他の關係上繩叺の製造に適せざるものあり之を產出せしめんと欲せば其制限として先づ耕作方法改善の必要あり之には少くも五年の日子を要すべければ今日より徐々に着手し之れと同時に各種の產品の販賣組合を設けて各移出市場の商人の連絡を取りて電報一打直に數万の產品を一括せしめ得るの方法を講ずるの要あり殊に現今群山、鎭南浦、木浦元山等の各市場は嚴重なる制限の下に繩叺の改良を實行せるが仁川釜山の兩市場のみは制限なきを以て自然注文品に對しては劣安なる粗惡品を使用するより本[illegible]群山其他の市場に於て[illegible]して移入を拒絶されたる粗惡品は悉く仁川釜山の兩市場に流入しつゝあり其結果は輸送の途中に於て破損漏洩し[illegible]て阪神其他の市場に於ける[illegible]り比較的多量なれ[illegible]斷次注文品は仁川釜山の市場を離れて當港其他の市場に吸收せらるゝの傾向を呈しつゝありて爲めに一方は取引益々堅實となるも反對に仁川釜山兩市場の取引は頗る衰頽のみとなるべければ仁川釜山兩港に取りて繩叺の改良は喫緊の急務なりと云へり

外事一束

▲[illegible]● し曰く是れ獨國海軍力と權衡を保つ爲也獨に對し敵對行爲に非ず。
▲今後● 英國海軍費增加すべきや否は獨逸が更に其海軍法を變更如何に在り。
▲外相● 之と戰術し增額を主張し終に決議案は大多數を以て否決せらる。
▲獨逸● 獨逸内相は遠からず毎年五千萬磅を社會政策の爲使用すと言明す。
▲波斯● 國會[illegible]により組織せられし新内閣は議會に[illegible]たる勢力あり
▲[illegible]● 名を演習に借る米國の動員は總て日本と戰ふ秋の下稽古也と佛國。
▲新聞● 紙報ず某野駐佛大使其眞實なるを表明す佛紙何が爲にする所有乎。
▲米國● 前大統領某氏は去十二日米軍演習地に到り各陣地巡檢せりと云ふ。
▲米加● 互惠條約に關する關税案民主黨手にて編成臨時議會論戰の好的。
▲墨國● 革命戰米境に近き所にて開かれ叛徒の不利に歸す米人超境觀戰す。
▲英國● 自由黨中不平派海陸軍費激增反對の決議案を下院に提出海相之に。
▲清國● 片馬問題は英國撤兵に決し支那政府は境界決定委員を任命せり。
▲[illegible]● 奉天電報によれば鼠疫患者は[illegible]に近づき十三日の患者は僅かに三名。

文苑

◎春　七首　大夢

心中の噂も殘る池の面に春の日入れて月影おぼろ。
只一つ咲いた花びらふみしだき世の波しらぬ乙女子の泣く。
つるぎ佩かば鬼をもひしぐ六尺の男の子もわわき戀に泣くめり。
天女舞ふと見ればいつしか夢さめて庭の青柳風にみだるゝ。
「なんて囲が悪いでしよう」と木の蔭にさびしく立てり美しの君。
蝶々とぶ菜の花畑に歡樂の夢を靜かに眠る乙女子。
春きてもこゝろさびしくたへられぬ彼の夜哭りし君よいづくぞ。





召使お初　第二十九回　黒法師

今日（享保四年五月十八日）は石州濱田の城主松平周防守殿御年寄國尾、御菩提所なる西の久保大德寺へ御代參の歸途、海老屋德兵衛方へ立寄りあらすべしとの觸れありしに由つて、海老屋の店奥には特受の用意に上を下への混雜なりき、實に國尾は濱田殿お奥に於ける利者、お年寄筆頭といふが爲め、奥方お付といふが爲め、奥女中第一の年長者といふが爲め、濱田殿奥殿を我物顔に横行する澤野に對し、一方の雄たる勢力ありき

澤野が奥方お付なれば、國尾は御小姓時代より濱田公お傍に仕へたる主君[illegible]付なりき、澤野が奥方を崇お着て權威を振へば國尾は御前付を頭に戴きて、一味の人々を手懐けき、濱田殿お奥には、この二人のお年寄あるが爲め、多くの上臈中臈お侍女まで兩派に岐れて、常に勢力を爭ひき、澤野が右といへば國尾が左、國尾が花と云へば澤野が月、それに付隨せる女中達も又それ〲に地位權勢を爭ふが爲め、濱田殿お奥は常に浪風絶わざりき、打ち見は美しき奥せり女官達の胸の底には、絶わず嫉妬の焔燃ゐき

されば出入の町人御用達にも、自ら兩派ありて、[illegible]は澤野付き、彼は國尾さま御贔屓の評判聞れなかりき、海老屋德兵衛は常に國尾に取り入り、男に[illegible]の[illegible]もあつて、大体[illegible]るが爲め、澤野の睨みたる眼に睨まれ居たるは是非無し

「お遣どのや〲」と奥の間より呼ぶは、海老屋の家に年久しく奉公する上女中のお殺なりき、お遣は茶の間に花を揷みてありき、彼女も又國尾待受けの役に選まれて、間毎の飾り付けに奔走するなり、彼女が父母の手許に在りて、年月習ひ得たる遊藝教養の仕術は海老屋へ奉公に來りし後の身を助けて誰にも彼にも重寶がられき、殊ら塵[illegible]に鶴の降りたる如く、主にも家人にも持て囃されき

「お殺ぎのござりますか」お遣は手早く芍藥の色好く香も好きを、古銅六稜形の花瓶に生け終りて、床の間に位置好く置き「只今參ります」

「お〲、其處に在らせか」とお殺は丸窓口の襖を開けて「ても奇麗、美くし生けられた、その芍藥の一輪が、此方お茶に似て居ります」

「及びもない事、お玩弄なされてはなりませぬ」それ遣は何時も裏國口に[illegible]へて「お客樣まだ入らせでざりませぬか」

「もう彼是……」と踏行口より庭の甚影詠めて「已刻過ぎでござります、御入來に程もあるまい、廣座敷のお床の花もお生けなされてござりませうな」

「お座敷のお飾り付お旦那樣に手づから、疾に調きて居りますわの」

「さらば是で一休み、まづ一服致しませうの」とお殺は襟を[illegible]きながら、煙管箱にちんと座る

「まぞお草臥でござりませう、あなたは御贔屓お掛りでござりますゝな」

「いやも、骨の折れる段ではない、國尾樣は御潔がお好き、それにはお口に適ふ適ひの區別もあつて、大体苦勞じた事ではござりませぬ、然し何事も躊躇なく購ひ、今はお入來を待つばかり、此樣に嬉しい事ござりませぬ」と云ひ續けて一息ついで「あなた國尾樣またお初でござりまするな」。

日韓瓦斯電氣株式會社 第五回決算報告

貸借對照表

資產之部

一、未拂込資本金	六〇〇、二〇〇、〇〇〇
一、興業費	七七五、四一五、八〇五
一、興業費未決算勘定	[illegible]
一、御美電氣會社權利及不動產	一、五五四、一三七、五一〇
一、貯藏品	二四九、五五七、七八八
一、銀行預金	一七八、八四七、四六〇
一、預託金	六九八、八八〇
一、假拂金	三四、〇八七、八九七
一、未收入金	四五、六七二、二四〇
一、有價證券	二、三七五、〇〇〇
一、現金	三〇七、六八〇
合計	三、九二五、八五三、六四五

負債之部

一、資本金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一、準備積立金	[illegible]
一、別途積立金	[illegible]
一、未拂配當金	[illegible]
一、借入金	[illegible]
一、支拂手形	三〇〇、〇〇〇
一、預り金	九、四五四、〇〇〇
一、假受金	六二六、六〇〇
一、未拂金	一四、八八七、一八五
一、前期繰越金	八、三七一、〇八八
一、當期利益金	八〇、四六四、二七二
合計	三、九二五、八五三、六四五

損益計算

一、本期總收入金	三五五、五八八、八七九
一、本期營業支出金	一七五、一二四、六〇七
差引	
本期利益金	八〇、四六四、二七二
前期繰越金	八、三七一、〇八八
合計	八八、八三五、三六〇
内	
準備積立金	四、〇二五、〇〇〇
別途積立金	四、〇二五、〇〇〇
役員賞與金	三、五〇〇、〇〇〇
株主配當金（年七分ノ割）	六八、二八〇、〇〇〇
後期繰越金	九、〇〇五、三六〇

右ノ通リニ候也
明治四十四年三月
日韓瓦斯電氣株式會社
取締役會長 高橋[illegible]
專務取締役 岡崎[illegible]
取締役 久米良作
同 大稻新太郎
同 白石直治
同 山口太兵衛
同 白[illegible]
監查役 伊藤[illegible]
同 平井[illegible]
同 金[illegible]

東京電報（十八日）

▲國債償還と銀行團　臨時國債整理委員高橋日銀副總裁は整理委員會の結果シンジケート幹事澁澤男の許に銀行團の意向を聽取せられたしとの希望を述べ同男は本日午前十時池田（三井）、三村（三菱）、池田（第百）、齋藤（興銀）、松方（第十五）、安田（第三）の諸氏を第一銀行樓上に招集し會議を開き澁澤男は政府は愈々五月末第三回五分利國庫債券六千百万圓（內還付債券六百萬圓）を抽籤なくして全部償還を爲すに就て之に關する諸君の意向如何にと諮りたるに各銀行は政府に賛成の旨を答へたり

▲桂首相の伏奏　桂首相は十七日午前十時三十分參內し何事か伏奏し正午退出したり

▲各皇族御除喪　久我警國尼公薨去の爲め御服喪中なりし各皇族殿下には十六日何れも御除喪相成りたり

▲武子殿下御成婚　北白川武子女王殿下は伊達宗敦男逝去に依り御服喪中の御母君殿下の御除喪の上勅許あり次第來る四月廿日前後に保科子爵と御成婚相成るべしと拜察す

▲商議書記長招集　農商務省にては五月十五日より五日間全國商業會議所書記長を召集し會議所諸般の事務上の打合せをなし農商務大臣よりの諮問事項を協議すべし

▲調査委員任命　本日波多野直敬、小牧昌業、谷森眞男、中川健二郎、湯原元一は教科用圖書調査委員會委員を仰付けられたり

▲北里博士差遣　本日北里博士は萬國國際防疫會議に列席の爲め滿州に差遣を命ぜられたり

▲各師團長の慰問　目下上京中なる各師團長及明石警務總長は巣鴨なる廢兵院に至り川崎醫院長の案內にて入院廢兵四十餘名を順次慰問し慰問品を寄贈して引取りたり

▲萬國美術會議　本日午前十時三十分より衆議院議長室に於て各派交渉會を開き萬國美術會議出席の件につき協議する所ありたり

▲西ケ原農場新築　農商務省にては此程燒失したる西ケ原蠶業講習所及農事試驗場の復舊費追加豫算約七萬圓を計上し近日議會に提出する事に決定したり

海外電報（十八日）

▲日米關係良好　駐米獨國大使は本國に打電して曰く日米關係は最も良好なり而して米國が墨西哥事件に干渉すとの說は全然無稽妄說なり墨西國の騷亂は決して確固なる根據を有せずと

▲露兵伊犁に入る　露國通信に依れば露國の强大なる一部隊はクルジャー伊犁の北方百キロ米突の地點に前進せり

▲露清關係危殆　蒙古通信　通商に關する露清兩國の覺書交換の結果遂に露國は最後の通牒を發するに至れり露國の要求に依り自國の貿易を制限せられたるもコブダーに露國領事館設置を拒絶したるを以て清國が不親切の態度を爲したるを認め兩國間の親交を破るの餘儀なき事を考慮せざる可からずと云へり

朝鮮電報

●朝鮮問題と議會　十七日韓國鐵道會計所屬資金の繰入に關する法律案は本日の貴族院特別委員會に於て原案の通り可決したる旨同日午後六時山縣政務總監へ公電達したり

地方行政譚片

▲地方費の査定　武藤地方課長語る　四十四年度地方費歲入出豫算は各道全部の出揃を了らざるを以て其總額數千くに達すべきか茲に之を語る能はざるも先づ大体に於て既往年度と大差なきは明かなり思ふに總督政治施行後各般の面目大に一新せりといふも此間僅かに半歲に過ぎざれば未だ**査定方針**の如きも舊內部の定めたるものを其儘**踏襲**すべく又歲入科目に見るも地方の現狀は濫りに新稅の賦課を許さゞるを以て**既定の稅源**に據るのみならん隨つて新年度に於て俄かに一大躍進を見んなど想像するは誤れり

▲地方の大責任　則ち經常豫算に於ては歲入出各六十萬圓國庫補助費二十万圓にして是れ十三道地方費の總額なるが別に併合後各府郡に配付せられし恩賜公債千七百餘萬圓あり此基金より得る利子は實に八十五萬餘圓の巨額にして現在地方費の上に在り故に地方夫れ自身の會計に於ては何等進の事實なしとするも一方此恩賜公債利子によりて經營すべき事業あるを以て**實質**に於ては**其責任を倍加**せる譯なり而して恩賜公債に關する經營は幷が使途を嚴定せられ而かも其の目的たるや民力休養を意味するを以て**一擧手一投足も忽**にする能はず慎重審議の計畫を立て以て優渥なる御趣旨を空しくせざらん樣努むるの要あり隨て此經營は地方に在ては頗る**重荷の大事業**と謂はざるべからず

▲公債事業の經營　以上の如く恩賜公債の利子に依りて經營すべき事業は各道に於て其業を異にし夫れ〴〵認可要申中なるが元來該公債は各府郡に區限せられ居るを以て其使用上少額を不便とする場合は二三を合して一とし其力を大にして共同經營するも差支なし然れども今日迄接せる者によれば**共同經營事業**は極めて**少數**なりと云々

●總督府追加豫算　明治四十三年度朝鮮總督府特別會計歲入出追加豫算此の程發表されたるが其各項目を示せば左の如し

▲歲入臨時部
一公債金繰入金　二百九十二萬六千七百九十二圓

▲歲出臨時部
一水道買收費金　二百九十二萬六千七百九十二圓

▲歲出臨時部
一歲入臨時部へ繰入金　二百九十二萬六千七百九十二圓

●總監邸の晚餐會　十八日午後六時より山縣政務總監は總督邸に倉富長官、渡邊法院長、國分檢事長以下三十餘名の司法官を招待し晚餐會を開催したり

●司法官會議終了　連日開會中なる司法官會議は十八日を以て全部終了したり尙十九日は各自の打合せ會を開くのみなりと

●第二回賑恤式　京城府に於ける鰥寡孤獨第二回賑恤式は昨日午後二時より前回の如く擧行せられたり當日は李王殿下には特に御使として閔長官を遣はされ又各團頭事も參列して嚴肅盛況を極めたる此擧式を參觀したり

▲大神宮の遙拜所に就て　太神宮遙拜所の造營計劃……夫れは實に結構の事である、誰が見ても現在の如き倭小見る影も無き有樣では洵に恐れ多い處が今回愈々問題となつて新聞紙上に各方面の遙拜希望が異口同音に傳はる……**吾輩は常に趣味**を以て該記事を讀み且つ**衷心**其の擧の**實現を歡迎**して居る、何卒ぞ一日も早く之を完成して貰いたいものだ

▲三島韓銀理事曰く、此問題を提げて意見は如何などゝ聞く方が野暮だ、本願寺は彼が如く輪奐の美構造の雄を極めて居るじやないか、夫れに何ぞや吾等帝國臣民の朝夕敬仰する太神宮の其遙拜所は……夫れを今まで**閑却**して居るなど實に**言語道斷**である、處で今の位置は參拜者の爲めに甚だ不便だ、故に遙拜所を計劃するなら先づ位置の改定が必要である、ハテ何處か宜かろふ彼處も面白くない此處も不可い、ソウ〳〵彼の大觀亭の橫斷に在る**圜丘壇**が最も恰適の位置であろふ

●韓銀二回拂込期　韓國銀行第二回拂込期は既に確定的事實として其準備中なるが來四月中旬の豫定なりと

●貨幣整理貸越　韓國銀行より政府へ引繼ぐべき貨幣整理事務は三月末日現在の計算に依る筈なるが今其概算を聞くに現在總貸越の內未使用の內地補助貸二百九十五萬圓あるを以て其殘日銀に返還し之を控除せる殘額約四百三十八萬圓利子約二十万圓及一銀關係の三百万圓を政府より償還を受け以て其事務引繼を了する筈なり

●北漢山砂防工事　元農商工部の事業たりし京城附近禿山の砂防工事は官制改革の結果京畿道廳の所管となり同廳にては十八日より着手せしが其計畫に就き興擔員の語るところを聞くに第一區は城北洞三角山第二區京城々內二王山第三區仁王山城外第四區鞍峴山及安木山第五區水磨洞山にして樹木は赤松及アカシヤを植へて寒暑の融和を目的となし五ヶ年以內に京城附近の禿山は總て靑々たる樹林を見るに至るべしと

●京城民團明年豫算　既報の如く京城民會は明年度豫算案討議の爲め來廿日より開會の筈なるが其歲入出總計豫算は左の如し

歲入
一金三十一萬七千五百十四圓　經常部豫算高
一金八千五十圓　臨時部豫算高
合計金三十二萬五千五百六十四圓

歲出
一金二十九万三千三百九十五圓　經常部豫算高
一金三萬二千百六十九圓　臨時部豫算高
合計金三十二萬五千五百六十四圓

因に小學校增築費は後日追加豫算として提出する由なり

●學校敷地踏査　既報京畿道廳より民團小學校新築敷地として京城民團に無償貸附の通達ありし龍山附近の地點は踏査の結果狹隘なる上に學校の新築用地としては其周圍面白からざる事情あり爲に道廳より更に候補地として光化門通り朝鮮步兵構內長谷川町大觀亭附近の空地二ヶ處を指定し來り民團の教育主任國井氏は十八日同處を踏査せしが其何れに決定するやは尙ほ未定なり

●大神宮造營費　京城民團四十四年度豫算總額は別項の通りなるが該案中に計上せられたる南山の大神宮社造營費は僅かに三千圓なり

●仁川電鐵計畫　其後　仁川電氣株式會社にては社債十五萬圓を募集し仁川市街に電氣鐵道敷設の計畫あり大体の線路等略ぼ決定しをることは既報せしが今回築港案議會を通過せしを以つて同築港設計の模樣により市區改正の必要を生ずることとなれば自然電鐵線路も築港設計の發表後に決定する筈なりと

▲人さま〴〵▼（十）　牧山耕藏君

早稻田大學の出身で犬養木堂の子分、日本電報通信社の京城支局長だ、君が長兄は大倉組の重役、次兄は金山持ち、何れも有福者であるが、君獨りはナゼカ貧乏神との緣が深い樣だ、併し斯は之れ木堂仕込が累を爲すのであつて、ツマり頭を下げて商賈繁昌を祈らぬ罪であるのだ、聞く君の紋所は李花だ、而して君の出身地は豊岐だ、之を以て察すると君は何だか李王家に由緖の有る人の樣で、君し日韓併合の際に由緖を申立てたら侯爵位にはなれた人の樣だ、君の道樂は單にアンマと旅行、而して無類大食、加ふるに軀幹長大如何にも無器用に出來上つて居る、併し本業の通信に掛けては隼的の機敏なところがある。

●法學校卒業式　法學校にては來る三十日午後一時より同校に於て卒業式を擧行す

●分遣所長會議　來る二十日憲兵分隊長會を開くべきは既報の如くなるが同會終了の上は更に分遣所長會議を開く筈也

●仁川居留民會　仁川民團民會にて曩に委員を設け調査事項ありし附托中の處十七日を以て全部終了せしを以て十九日午後一時より民會を開く

●仁川小學就學兒童　四十四年度に仁川尋常小學校へ入學すべき學齡兒童は十八日迄に同地民團役所に屆出でし者男三十八名女五十二名合計九十名なりと

●東拓貸付規程變更　東拓會社が從來土地に對する貸付を爲すには鑑定料の實費を支拂ひ[illegible]め每に物議を醸し居りしが會社も其非を覺りしが提案の變更を爲し貸付金に對する千分の三を徵收することゝし鑑定金は所在地の遠近に拘らず同一率にて一口百五十圓に達するときは其以上を徵收せざることゝなし來る四月一日より實施の筈

●大仕掛の水利工事　全羅北道の臨沃水利組合にては過般來同郡內京場里の宮崎農場附近に創立事務所を設け宮崎佳太郎氏創立委員長として着々起工の準備中なりし處恰もよし此程三井家理事波多野承五郎氏と同行せる三浦技師が實地視察の上其設計に遺漏なきことを證せしが一方起工に關する一切の準備既に整頓し居りしを以て十九日創立總會を開き組合の成立を了り工事は直ちに請負入札に附し二十日過より土工に着手なす筈なりと因に同水利工事によりて灌漑の便を受くる田野は臨陂沃溝二郡に互り五千町步に及ぶと云ふ

●錦江電氣事業　大田に於ける錦江水力電氣事業の計畫內容なりと云ふを聞くに水源は錦江上流なる沃川附近に於て十餘里程流下せる處を沃川の東方一里餘の地點に於て約一里を開鑿して下流に切落し百十尺の落差を以て最少一千馬力を得るの見込にて大田の內藤民雄、工藤勇次、內田史郎氏外四名及び東京の尾高次郎、大川平三郎氏等發起人として資本金六十萬圓の會社とすべく其筋に出願中なりと而して同水源地は水量常に豊富にして最大三萬馬力迄では得らるべく頗る有望にして朝鮮有數の大事業なるが之れが電力を供給すべき將來の事業として大田より公州洪州を經て牙山方面に至るものと又大田より淸州忠州を經て江原道江陵に至るもの及び大田より京城に至る鐵道沿線なりといふ

●岡十郎氏の墨國行　東洋捕鯨會社長岡十郎氏は來る四月中旬迄に墨國に赴き滯在約三ヶ月の豫定にて實地に就き同國の沿海漁業を取調ぶる筈なりと

●河村檢事の出發　既報獨逸に留學を命ぜられし京城地方裁判所の河村檢事は二十二日午前九時當地出發すべしと

●新義州車內消毒廢止　過般來防疫警戒上新義州驛發客車內消毒施行し居たり目下の狀況にては斯かる必要を認めざるに依り昨十七日より之れを廢止したりと

●鹿兒島觀察團旅程　鹿兒島新聞社主催の朝鮮觀光團約八十餘名は來る二十二日朝釜山着同日大邱に一泊二十三日大田一泊二十四日京城着二十五日二十六日二十七日の三日間京城滯在二十七日午後十時十分南大門發馬山に向ひ二十八日は鎮海灣に於て弁當を喫し二十九日釜山より連絡船にて歸國の豫定なり

▲賑恤式雜觀▼　京城府に擧行の鰥寡孤獨賑恤會賑興式を觀た▲鰥寡孤獨既に可憐の階級なるに其中から更に撰り拔いた赤貧者だから一層悲慘の感があつた▲足腰も立たぬ老衰者や盲聾不充分の婦女小兒が坊長に導かれて喘ぎ〳〵步を運び來る有樣は正さに是れ人生の悲劇である▲金持から見れば爪垢にも足らぬ端した金だが彼等に取つては千金の寶を得たようなものだ、穴の明いた葉錢以外見た事の無いのに紙幣が三枚、懷に這入るのだから殆んど夢かとばかり▲嬉しさ耐へ難く懷から出したり入れたり百遍も繰り返へして居る▲餅の嬉しかつたと見え離らぬ舌で萬歲を唱へ庭園の門を出る時など三拜九拜して感謝の誠を捧げて居る▲此擧式を聞いて昨日の如きは召喚せざる貧乏人が數百人となく押寄せて坊長が說諭して追ひ還さんとすれば私も孤獨の赤貧者だと名乘り中々聽き入れない▲斯ふいふ賑恤の擧は李朝時代にも在つたが當時は役者と稱した爲め武士は喰はねど高楊枝を氣取つて容易に來なかつたものだとは李完用の話である▲赤十字社は特に看護婦を繰出して仁慈の道を盡して居たが救護を受けたるもの實に五十餘名▲第二回の昨日は[illegible]も參觀し孰れも吾が仁政の遺憾なく行屆けるを見て衷心滿足を表して歸つた

●叺製造の傳習所　大邱金融組合には昨冬以來叺製造傳習を開始しをれるが今回農商工部にては同組叺傳習所へ百四十圓の補助金を下付せりと

●書畫美術院の詩筵　二十日午後一時より中部豆錦洞書畫美術院に於て春季詩筵を催ほしにて當日列席の詩星は同美術院長趙民熙、事務長金宋漢、評議員李完用、贊助員金嘉鎭、趙重淵、朴齊純、尹永基、方漢德、金珩栻、丁大有、李根培及び內地人側に在ても國分人事局長の諸氏其他にして詩作後酒讌を開くべしと

●槐南博士追弔詩會　金允植氏發企となり十八日午後一時より北部齋洞翠雲亭卽ち觀樂俱樂部に於て近く物故せし森槐南博士の追薦詩會を開きたるが來會者は何れも故人と詩交私交ある雅客にして先づ悼詩を薦めうりより故人の逸事譚ありて散會せりと

▲公人私人

▲栗谷政一（貿易商）　巴城館
▲賀屋隆吉（京都醫科大學教授）　同上
▲楠野俊成（淸津府尹）　同上
▲佐野一郎（富士製紙會社員）　同上
▲松尾利右衛門（貿易商）　三ケ月旅館
▲小濱寅五郎（安東新報社長）　旭旅館
▲服部義清（同社員）　同上
▲菅原淸（咸鏡北道技手）　同上
▲間宮伊賀次郎（鑛山業）　佐伯旅館
▲岡田仁吉（醫師）　浦尾旅館

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　十七日の分
乘車客　七五六　下車客　一七五〇
乘車賃金　一、五八七、八一

▲南大門驛荷扱高　十七日の分
發送　九一噸　到着　三三五噸
貨物賃金　六五四、六〇

▲龍山驛乘降客　十七日の分
乘車客　二三六　下車客　一五六
乘車賃金　四一二、二六

▲龍山驛荷扱高　十七日の分
發送　二二噸　到着　五四噸
貨物賃金　七七、二〇

▲仁川港入船舶▼
▲群山丸　十九日大阪より入港

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
三月十八日	一一九、二三六、九四	三四五

▲治外法權▼　宇島の財產[illegible]に關する總督府提出の法律案が議會で悉く修正されたのは誠に不思議な譯だ殊に情意投合の今日、右の修正が政友黨の政友會議員に因つてされたるに到つては一層不思議な話だ、併し夫は政友會の罪でも政友會の罪でもなく實は案其物が餘りに杜撰であつたからであるのだ▲事業及債に償還期を附せぬ、朝鮮銀行の監督權を總督の手に收める、同行の總裁を總督が推薦する、曰く何、曰く何、之れが原案の儘で通過したら總督サンや度支部サンには都合は良いだらうが、結局は半島財政經濟の紊亂を來すのである▲茲に於てか如何に政友會が盲從式でもダマツて居ず、覺に衆議に訴へて修正をキヤツた、之が爲に總督府の沽券は下つたが、吾人半島民は來らんとせし不換紙幣濫發から遁れた▲實業視察團が北へ向けてタツタ、例に因つて例の如く我京城と喰暮らして何の土產をも置かず、大々的に道者根性を發揮してタツタ、茲に到つても折角彼等の爲に提灯持ちをした本紙は世間樣に對して濟まぬことゝなつた▲聞く鮮人側では今度と云ふ今度キリで以後は內地人觀光團の歡迎を決してせぬことにキメたツウだ、思へば觀光團の來るのは鮮人に對して在留內地人の面汚しだ▲御用紙京城日報が今度地方版と云ふものを平壤、大邱、釜山等まで出すのは其地の新聞を壓倒せんの下心だツウだ、茲に於てか民團新聞は緊褌一番せざるべからざるものだ▲仁川疑獄の被告奥田は二千圓の保釋で出た、タツた二十圓で保釋を許される樣な輕微な刑事被告人を幾日となく拘禁して置いたのは餘りに朝鮮式だ▲雷石衛門來り、雲右衛門亦た來らんとす、我京城浪界の全盛期將さに來らんとす頌風會員の得意思ふべしか。

▲相場電報（十八日）　明治町西村支店着電

▲大阪株式（四月限）（電報不着）

▲京坂　同　六三、三〇
▲電鐵　同　六二、九〇
▲大坂　同　六七、〇〇
▲紡績　同　六六、〇〇
▲入坂　同　新株不申

▲大坂　同　一三二、四〇
▲株式　同　一三二、〇〇
▲同直　同　一三一、七〇
▲取引　同　一三一、〇〇

大阪期米

▲當三月寄十五圓六十九錢▲止不明▲四月寄八十錢▲止不明▲五月寄九十三錢▲四十一圓四十八錢▲最高低無▲止同上▲五月寄十一圓六十九錢▲最高七十錢▲最低六十錢▲止六十一錢

●十八日前場　三月寄十五圓六十六錢[illegible]

●十八日前場　三四月出來不申▲五月[illegible]

●全北農產物品評會　群山地方金融組合にては來る二十日より三十[illegible]



恐ろしき女の半生

▽井門支店浪次の懺悔錄

本契約を際中に結んで二百圓を受取つてからは嚴しい監督に逃げる機會もなかつたので據なく汽車へ乘り込んだ後は表面は至極神妙に猫を冠つて居ると、も知らぬ佛性の旦那から妾と一緒に抱へた妻枝ちやん幸子ちやん富枝さんの監督を賴まれたのが百年目、ホイ失策たは後の祭り、今こそ立派に白狀しますが、實はね旦那、然らして貴郎に油斷をさして汽車へ手知つた招牌か原か鈴川で脫け出そうと云ふ腹で、したが明雲集の監督迄托されてシカモ貴郎は二等室に居られるんでしよう、貴郎を騙して掛へて置いてなら格別、斯う成つて見ると流石に左樣した卑怯な眞似は氣が咎めると云ふものか濟まない、と人間並の考へが、惡いとも何ともなく胸に浮んだの人の性は善など孟子樣は甘い言を仰云つたのね、フス……。所し妾の濟まないは自分の心にと云ふのですから矢張り機會があつたらの式で他人に濟まないと云ふ次第ぢやな心は全然失せはしません、機會は機會ではで、シカ〳〵と連絡船へ乘つて終つた、スルト又、貴郎から大切な鞄を托されたから、ヨシ今夜の間に其奴をば海中に抛つて關係書類を紛失さして妾計りか他の三人の契約をも無效にして逃らうかと考へたが能く思へば公證役場でした契約だから關係書類を紛失さした丈では駄目、モウ此の上は詮方がない、京城へ着いたら此の青二才を……。醒いつたつて全く左樣思つて居たのだからお氣も亡樣よ、ホヽヽ。

昨年の二月でしたね、南山町の料亭合瓢から元朝鮮日々の仁川支局の佐藤翠湖さんの嬖色を使つて旦那を呼び寄せ馴れた手際の色仕掛け猶々油を掛けて試たが堅いのか恐かつたのかヌラリクラリと捕捉へ所のない返事に逐々妾が根負けして引き退つた紙觸の恥さ寐入て見て下さいよ。後日になつて旦那は樣の懸想さんと初めて知つてナル程、妾の覗つた色の網へ罹らなんだも女將さんに立てた實からでしよう、アヽ其樣に恥かしがるニヤア及びません、ポンとに貴郎は實意男だよ、憎らしいね企んで掛つた仕事は皆グレハマ、其の手で不可なきや此の手で行こう計畫したのが足拔、夫れも一人ぢや面白くないと朋輩の唆かしに取りかゝつて居た昨年三月、忘れもしない七日の夜、故郷の親父が妾の罪に連累して繩付になつて來た、ハツと驚く耳元で「オイ濱次、々々、オイ濱次」と呼ぶ人がある、ブツと我れに返ると夫れは夢、寢衣は汗でグッショグシヨ「お前は大變魘されて何ぞ夢を見たんだい」と尋ねられたがヘイ斯く〳〵と是れが話しが出來ますかよ「貴郎に棄てられた夢を見たのよ」と掛ける氣もなくかけた手管に罹つたはアノ內務部の新庄順貞さん（つゞく）

●重大犯人の遁走 某重大の事件に關係ある犯罪人は目下駐箚憲兵隊司令部の樓上に於て審理中なるが該犯人の內事件に最も重要の關係ある一人は十六日夕憲兵隊司令部の樓上より逃走し其後行衛不明となりたる處昨日松葉を負ふて市中を徘徊し居れる者あり色青白く晝述の松葉賣りにあらざるを以て機敏なる憲兵補助員の悟るところとなり拘引の上取調べしに彼れは前項の逃走したる犯罪人にて逃走の當夜は南山の松林中に潛み翌日大膽にも松葉賣りとなり市中に出でたるものなりと

●又々大賊捕はる 去る十四日仁川警察署の樋口巡査が巡回中本町二丁目の街路に於て擧動不審の男を認め早速本署に引致し訊問せし處同人は熊本縣天草郡手深村生れ吉川吉太郎（廿六）と云ふ者にて一定の住所職業なきため浮浪罪として拘留に處したるが井、坂下、小池の三刑事の活眼にて他に罪狀ある者と看破せられ嚴重取調べをなしたる處遂に自白に及びけるが彼れは前科數犯の曲者にて明治四十年の夏頃迄長崎監獄に於て三年六ヶ月の刑を受け出獄後改心せず對州、釜山、馬山、京城等を荒し廻り仁川に來りし者にて現に所持品は濱縮緬兵兒帶三本其他身分不相應の衣類雜品等を有し居り尙餘罪ある見込にて目下野村警部の手にて嚴重取調中

●朴仁淳逮捕せらる 去る十五日趙東慶子郞の警衛巡査補朴仁淳が誤つて同家の小使金君完を銃殺し其の儘逃亡したることは既報したるが朴仁淳は十七日午後十一時東大門外祭基里に於て逮捕せられたり

●大膽なる小賊者 龍山元町三丁目中島德太郎出張所員清水優が十五日所用を帶び他出の途次靑坡にて自轉車へ金入を入れ居たるに何者とも知れず優がポケットに手を入れ所持金二十五圓五十錢を竊取逃走せし者ありしかば直に此旨龍山署に屆出しに同日午後六時頃桃花洞外を警巡中の巡査擧動不審なる鮮人一名が現金二十圓五十八錢と短靴一足を所持し居るより一應同署に引致取調べしに現住不明臨晋崔順瑁（三三）にて前記優の所持金と尙南大門外桃井洞齋藤眞治の短靴を竊取せし旨判明せり

●短氣な功七級殿 福岡縣三井郡金島村大字中川三百九十一番地當時吉野町一丁目居住秋吉淺吉（三三）は日露戰役の功に因り勳八等功七級の有る者を有する人物なるが十七日午前十時頃自宅に鮮人景興太が野菜賣りに來り牛蒡の價の點より爭論を起し鮮人を毆打し派出所に訴へられ南部署に於て取調の上拘留十日の即決言渡されしに不服として正式裁判を仰ぎたり

●洗濯曹達ご心中 西部仁達坊壙井洞廿九統二戶徐舛淳方康漢泰（三三）は十七日午後六時頃過て麥の粉に洗濯曹達を混じ之を食し死亡したり原因は過失

●出火二件 十七日午後十一時二十分西部大昌洞二十二統六戶崔鎭方の煙突より出火し溫突八間を燒失して同十一時五十分鎭火せり此の損害約三百圓なりといふ▲同日午後十二時北部溫井洞二戶金命淳方の溫突より出火し溫突の一部を燒失して○時二十分鎭火せり其損害約四十圓なりと

●執行猶豫の恩典 旣報田中一治は徵役一年に處せられ五箇年間刑の執行を猶豫せらるゝ由

猶豫恩典を與へらる

●成北の降雪 成鏡北道にては十六日の夜より雪降り十七日朝には積ること一寸餘に及びたり

日曜集會（十九日）

●日本基督教會 旭町四丁目同教會にては十九日午前九時より日曜學校同十時より丹羽淸次郎氏の禮拜說教「我恩寵に足れり」午後九時半より尾石剛二氏の傳道說教「品性と基督教」あり

●京城基督教會 日の出町同教會にては十九日午前十時より米澤牧師の禮拜說教午後七時半より同牧師の傳道說教ある由

●微笑會例會 初音町二丁目臨濟寺にて十九日午後三時より圓山太嶺禪師の宗門無盡燈論例會提唱あり

●高野山彼岸會 新町高野山にては十九日より廿五日迄每日午後一時同八時に彼岸法會說教並に御婆回向執行の筈にて尙例年の通り三月廿一日正御影供は本年も四月廿一日修行の由なり

●彼岸會說教 曹洞宗兩大本山別院（若草町一丁目）にては十九日より廿五日まで每日午後二時より田中主任の彼岸會の說教あり因みに中日廿二日には午後二時より一般信徒の大施餓鬼會を修行せらるゝ由

四ッ手網

●中券藝妓藝名詠込都々逸 本町 浪廼舍

（一）

◎花月樓 ○君江
筆に心の誠をこめて
君江思ひを書送る

◎井門樓 ○蝶々
かたい丸髷はすはな廂
浮氣らしいが蝶々まげ

◎掬翠樓 ○京
手練手管や世辭わいらように
迷い郞の浮れ客

◎松葉亭 ○駒榮
主放手綱も何時しかゆるみ
心の駒榮狂いだす

◎清華亭 ○多福
顏は醜いた多福なれど
先にや優しい實がある

◎一口噺 化物生

案內者「ドーモ朝鮮人は遲鈍で困ります」
視察團「否々恩賜公債未だ手に入らぬサキから賣る手續とは中々以て銳敏ぢやないか」

甲「今度總督府で水車を買ふ相な僕も一臺頼う」乙「君は何時も火の車だから時には水車も宜かろう」

ハイカラ「此頃の觀光團はフロックにシルクハットもチョイ〳〵見當るキー」大學生「近代的だわね」

節のやさ

春やう〳〵景色をそゝり今日此頃に匂ふ花ならぬ解語の花の數々を箒之助が歸さ集めたる二ッ三ッ左に御披露仕べく候▲井門支店の東久枝には成旦那に寵されて當々一昨日座候▲清月樓より過日現れたる綾子（二一）は至極溫順しき性質にて殊に艷麗なる姿の楊柳を逸ぎ細腰裊々として風に怯れるが如き風情はドオ見ても素人臭からず何れ二度目の勤めなるべしと誰が目にも見ゆる所に候へ共全く初生の事に候、されば綾子々々と名指であがる客が仰山に云へば角力場の木戶口、押すな突くなどは、チモ素晴しき人氣に候はずや▲同樓にて同じく新妓の環（二二）は樓中にても評判の好い妓にて誰にも可愛がらるゝとの事にて候、溫柔にて少しも惡氣のない性質が此妓の德と存じ候、愛嬌のある好いたらしい顏立、殊に斷長の下膨の顏が如何にも可愛らしく其顏ベタに喰い附いてやりたい程に思はれ候▲箒之助も來世は藪蚊にでも生れ替りて來て喰らい附いてやる考に御座候餘は後便に申し上ぐ可く候かしこ（箒之助）

●演藝だより

●壽座 奇術師地球齋マンマル一座は目下釜山に於て大喝采を博しつゝあるが愈々十九日京城に乘込み壽座に於て來る廿日より開演す マンマルは多年歐米に於て奇術を研究し殆んど其蘊奧を究め歸朝し嘗に東京に於て有栖川宮殿下の御高覽を辱ふしたる由

●歌舞伎座 東洋軒雷右衛門一座は十七日夜乘り込み十八日初日を出したり讀み物左の如し 岡野金右衛門繪圖面取、橫川勘平機轉の一番鎗水府公の滑稽台辯節以上三席（雷右衛門）一心太助傲（一）浮名の橫櫛（雷勢）關口彌太郞（雷蝶）

●浪花館 引續き大入盛況なる浪花節吉田春圃一座は御禮として愈々十八日より木戶錢代共無料御語り物は天龍川仇討吉岡武勇傳（京山愛幸）兩面金太（吉川數夫）伊賀の水月荒木美談（喜樂亭八）赤穗銘々傳（日本軒雲龍）小栗判官、怨の太刀風津田三藏（吉田春圃）なり

仁川商店めぐり

宮町 淺田屋

店主は杉山照藏氏靜岡の人にして年漸く老けたりと雖も事敢らず辛酸を嘗めたるは到底凡人の想像し得る處に非ず鄕里に在ては最早策の施すべき餘地なきに至り當地に渡來せしは明治二十七年の事にして腐れ密柑を傍路に列ねて商ひしは如何に氏が窮地に陷りしか

運の勢（日）

●三月十九日 四綠 戊子 友引 [illegible] 遺失負傷の恐れあり保證受印裏書を愼む其他平穩 婚談談合連盟合同に吉△二黑 婚談結納連盟合同に良好 [illegible] 親戚知友の事に煩ひあり共同組合の事に凶他は平穩△三碧 急ぎ取引貸借金錢に凶店舖轉住に [illegible] 差障りし△四綠 談旅行轉住に凶遺失橫領の事注意すべし△五黃 談合商談貸借不動產上の事効成り難し近親の事に煩ひあり△六白 行開店起業凶△七赤 旅行凶負傷婚姻共同組合連盟の事起業開店旅行凶△八白 盜難紛爭を戒む新事旅行婚談見合せの事△九紫 證券印章の授受取扱に間違生ぜんとす他は靜事

三月廿日 癸二月廿日 五黃 己丑 先負 [illegible] 一白 情義に馳せて失損あり旅行婚談移轉起業開店凶金錢貸借取組交涉談合難し△二黑 予孫繁人の事注意すべし他は平和の日大凡吉旅行商談協定に好し△三碧 間違紛爭生せんとす色情痴情の破れを戒しむ遺失橫領負傷防ぐべし新事旅行見合せの事△四綠 不得要領の日談判相談婚談商議協定中裁効無し移轉整理改革進行に利あり他は手控への事△五黃 萬づ謹愼の事投機的及出資開店起業に忌む旅行婚談轉居に凶△六白 快欣の日大抵吉意僅其他家庭上煩鎖多し△七赤 委囑談合商議協定入學門起業開店披露に良好敎の授受間違生せんとす△八白 家族從者に事注意すべし他は平和の日改革整理旅行移轉に尤も適す△九紫 家庭近親の爲め出捐失費多し會見談合提携協定尤も吉不和葛藤を戒しむ（二一館）

謹告

拜啓小生義京城在勤中は公私御懇情を辱ふし奉深謝候今回長崎本店へ轉勤致候に就ては將來不相變御眷顧に預り度乍略儀此段紙上にて御挨拶申上候 敬具

追て當分は尙左記の處に靜養致居候間御承知被下度申添候

鎌倉、長谷 三橋別館

清水文之輔

故莊司章儀葬儀の際は遠路の處態々御會葬を辱ふし殊に段々御深厚なる御懇情候乍略儀紙上を以て御禮申上候
明治四十四年三月十九日
莊司ヨチ
親戚 同
友人 一同



